

鳥取県総合芸術文化祭

とりアートオペラ公演実行委員会（第2回）報告

出席者／西岡千秋・吉田章一・鈴木 百合子・松本厚志・小倉知子・計羽孝之・尾坂俊恵・新田恵理子・松本好生	欠席者／中尾剛久	オブザーバー／中尾剛久(とりアート本部)
---	----------	----------------------

2016. 12. 6 報告事項

【1】役員と役割を再確認しました。は、下記の通り。

実行委員長	「西岡千秋」(舞台制作プロデューサー)制作部所属
副委員長	「尾坂俊恵」(企画委員長)制作部所属
委員	「吉田章一」(公演事務局長)広報部所属
委員	「鈴木百百子」(会計) 広報部所属
委員	「計羽孝之」(総合プロデューサー・芸術監督)制作部所属
委員	「小倉知子」(マネジメント)制作部所属
委員	「新田恵理子」(ピアノ・マネジメント)技術部会
委員	「松本厚志」制作部所属
委員	「松本好生」(監査)監査担当

【2】オーディション要項について

a) 課題曲の件

ヘンゼル (メゾソプラノ) Hansel
「[14] ～[20] ダンスなんてダメさ」
グレーテル (ソプラノ) Gretel
「2 幕の《あさのめざめ》」 「[115]～[119]ここのこ、へんね」
ペーター (バリトン) Peter
「[34]～[38]おい母さんおれだ」
ゲルトルート (メゾソプラノ) Gertrude
「一幕二場[27]～[32]なんて悪い子どもたちだろう」
お菓子の魔女 (メゾソプラノ) Witch
「[154]～[164]まで!」
眠りの精、露の精 (ソプラノ) Sundman
「[90]～[93]眠りのせいだよ」
露の精 (ソプラノ) DewFairry
「[112]～[114]私は霧の精」
お菓子に変えられた子どもたち 後日別個にオーディション 「[203]～もう大丈夫」

b) オーディション日程⇒下記の日程の内、指揮者の都合の良い日とする。

第一候補日	2017. 4. 15(土)
予備日	4. 16(日)
	4. 22(土)
	4. 23(日)

c) オーディション内容について

ソリストは、ダブルキャストとする(本公演採用者、学校公演担当は2018 年度決定する)
児童合唱は後日検討。オーディション審査員は指揮者・副指揮者・演出家・ディレクター。
バレエについては、基本的な演出内容が決まってから検討する。

【3】オーケストラについて⇒方針の決定

既存のオーケストラに地元演奏家が参加する形とする。編成は大勝氏に依頼。

編成案はオーケストラ編成=基本的に2管編成 34人編成とする。

⇒Vn=8/Vo=2/Vc=4/Cb=1//Fl=2/AltFl=1/OB=2/Hp=1/Cl=2/Hr=4/Tp=2/Tb=2/Tub=1/Perc=2

【4】 ボーカスコアは、とりアートオペラ公演実行委員会で作成する。(日本語バージョン/字幕を付ける)全曲演奏とするか、一部カットした演奏とするか、演出家の判断とする。

【5】 主なスタッフについて

- アートディレクター・総合プロデューサー「計羽孝之」。
- 指揮者「大勝秀也」
- 副指揮者「大浦智弘」・「新倉 健」
- 演出「中村敬一」
- 演出助手「西岡千秋」
- 美術「増田寿子」
- 舞台監督「山中 舞」
- 舞台制作「スタッフユニオン」
- 照明「榎木 実」
- 衣裳「下斗米雪子」
- バレエ振付「中川 亮」
- 音響・映像「小野隆浩」
- 制作プロデューサー「西岡千秋」
- 練習会マネジメント「小倉知子」
- 練習会ピアノ・マネジメント「新田恵理子」
- 合唱指導「村田江里」
- 協力団体「倉吉親子劇場・倉吉つばみ会バレエ教室・合唱団みらい・とりアート中部実行委員会・その他に依頼する。

【6】 実施スケジュール

- 公演台本(日本語)の決定
シナリオ検討
演出プラン⇒平成28年度内に終了。
公演企画詳細完成⇒平成28年度内に終了。
- キャスト練習会(オーディション以降)
- 公演予定
平成29年9月、圧縮版「ヘンゲル」上演(倉吉交流プラザ)オペラ宅配便の設定
平成30年6月、圧縮版「ヘンゲル」上演(倉吉交流プラザ)想定
平成30年6月より立稽古(詳細は未定)毎月土曜日 or 日曜日の4回
平成30年8月には、総合公開リハーサル(記者発表)
平成30年9月より土日で設定
舞台設定⇒平成30年12月21日(金)仕込み作業
平成30年12月22日(土)場当たりとオケ合わせ
平成30年12月23日(日)公開ゲネプロ
平成30年12月24日(月祝)本公演

【7】 予算について

現段階では上限25,000,000円未満での概算

- オーケストラ経費については、オーケストラ規模が決定次第に概算するが、5,000,000円程度の範囲で策定する。
- オーケストラ規模の決定については、ディレクターと指揮者の話し合いで決定する。